

1 相手を尊重する気持ちをもつこと

2 落ち着いた態度で話を聴くこと

3 あたたかい視線を向けること

4 身体言語（非言語的コミュニケーション）に気を配る

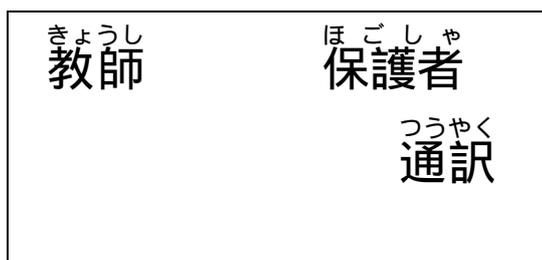
相手の心の中に起きている感情の変化をいっそう深く理解する

通訳の位置：理想型・基本型函解資料（教育）

通訳の場の作り方

2003 . * * . * *

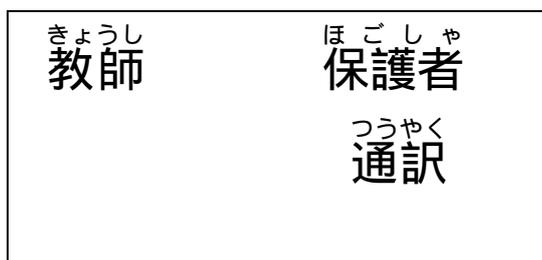
1 通訳の位置：理想型



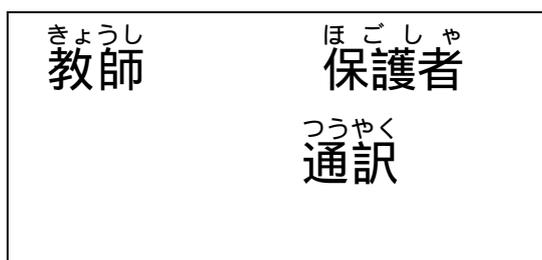
- ・教師と保護者が向き合い、会話をします。
- ・通訳は、補助であり、保護者の少し後ろ。

2 通訳の位置：基本型

- ・通訳の顔が見えないと不安な様子不安な様子の保護者保護者の場合は、このような配置も考える。



- ・保護者と通訳が並ぶ。



- ・保護者より少し前に位置し、保護者から通訳の顔がより見やすい。

学校側に指定された通訳の椅子の場所が望ましくないときには、
理想の位置に近づけるように、はっきりと主張すること

通訳失敗物語

(個人面談が始まる前、廊下で個人面談の順番待ちの時間に、保護者が自分のことを話し 始めたところ です。)

患者：あの、私、日本で個人面談は初めてなんですけど・・・

通訳：(待ち時間も本を読んでいる。本に落とした目線をちらっと上げて) 何ですか？

患者：あの、自分の国では、先生ってとても偉い人だから自分から何かいろいろ言うのは、どうも苦手なんです。私の気持ちをかわりに言ってもらえませんか？私、仕事で毎日帰りが遅くて、家に帰ればご飯の支度に洗濯、とても子どもの勉強までみてあげる時間がなくて・・・それに日本語がよく分からないから、うまく教えられなし、・・・でも私だって精一杯がんばってるんです。子どもをほったらかしているわけじゃないんです。私だって、国にいるときはもっと勉強も教えてあげられたし、まわりに友だちもたくさんいたから、大変なときは、みんなで助け合ってた、(涙ぐむ) こんな私の気持ち、通訳さんにはわかってもらえますよね・・・あの通訳さんから言ってもらいたいんで・・・

通訳：(話を遮って、困った顔つきで) あの、ここは日本なんですから、国でどうだったのかわからないですが、あんまり余計なこと言わない方がいいですよ。日本じゃ、個人面談で母親が身の上話するなんてこと、あまりないですよ。先生も忙しいんだから、成績のことだけ話して、さっと終わらせましょうよ。私だって忙しいんですしね。

患者：でも、せっかく通訳さんと一緒なので、普段言葉の通じる人が周りにいなくて困っているから、先生に相談したいこともあるし、私、国にいたときから、・・・

通訳：(話を遮って) 国での話はもういいですよ。・・・あ、呼ばれた、ほら、いきましょう。(教室へと自分だけ急ぎ足で行く)

ナレーター：個人面談中、保護者はごく簡単にしか話さず、不満げな表情でした。そして、終わって学校からでると、通訳者に挨拶もそこそこに、公衆電話へと向かいました。

保護者：(電話で) もしもし、コーディネーターの方ですか？紹介してもらった通訳さんなんですけど、ちょっと残念でした。私の話をあまり聞いてくれないし、ここは日本なんだからって、・・・そんなこと私も分かっているけど、しかたないじゃないですか。まだ日本のやり方に慣れてないんだから。だからこそ通訳の人に来てもらったのに、先生に話したいことも話せなかったし、あまりいい個人面談ではありませんでした。今度は通訳の人、かえて下さい。もうちょっと話を聞いてくれる通訳さんを是非 お願いします！

通訳失敗物語

(高校進学のための三者面談。生徒は日本語が分かりますが、保護者は分からないので教師、保護者、生徒の三人が通訳を介して、話し合っているところです。)

教師： A さん、 B 高校普通科に進学希望ということですね。

A さんは高校卒業後どうしたいという見通しを持っていますか。

A : まだよく考えていませんがコンピューター関係のことがやりたいので、高校を出たら専門学校へ行きたいと思っています。

教師： それはいいですね。でも、今のままでは内申点が残念ながら少し足りません。

B 高校の普通科だと * 点ぐらいがボーダーだから、当日の学力検査が 80 点以上とれないと難しいです。 A さんの実力は大体 6 割ぐらいとれてて偏差値 * だから、今のままだと誠に申し上げにくいのですが B 高校は難しいかもしれないですね。他の選択も考えていきませんか？

(失敗ポイント：逐語訳をしていない。相手が長く話してもうまく切れない)

(通訳のひとりごと： え、そんな、先生 続々と専門用語続けて・・・進学の話だって聞いてたから、ゆうべ下調べしようと思ってただけど、つい、あの連続ドラマ見ちゃったんだよね。まあ、いいか...)

(失敗ポイント：事前準備していない。)

通訳： お母さん、 A さんに B 高校はムリだからほかの高校にきなさいと先生が言ってます。

(失敗ポイント：語調を合わせていない。教師は丁寧に婉曲に話しているが

通訳は断定的否定的表現

一人称で話していない)

通訳： うわさで聞いたんだけど、 B 高校でこの間何か事件あったらしいですよ。

B 高校は遠いし、別の高校考えたらどうですか。

(失敗ポイント：主観を交え、自分の意見を付け加えている)

保護者： え？無理？でも、先生はもう少し長く話していらしたようなのにちゃんと訳してくれたんですか？

通訳： 先生の話が止まらなくて長いので結論をお話ししました。

保護者： そんな...。それで先生はどの高校なら大丈夫と思いますか？

教師： C 高校は如何ですか？ C 高校なら内申点が * 点でも、試験当日大きなミスをしなれば、恐らく大丈夫だと思いますが。

通訳：先生がC高校なら内申点*点でも絶対大丈夫だと言っていますよ。よかったですね。

(失敗ポイント：「恐らく大丈夫だと思う」を「絶対大丈夫」と訳し、正確ではない)

保護者：内申点って何ですか？

通訳：学校の成績のことですよ

(失敗ポイント：分からない専門用語を勝手に解釈し、話者に易しく言い換えてもらっていない)

教師：今は、できるだけ希望する学校に合格できるように、学習に専念して下さい。

通訳：できるだけ合格できるように、学習して下さい。

(ポイント：省略して訳している)

通訳失敗物語

(高校進学のための三者面談。生徒は日本語が分かりますが、保護者は分からないので教師、保護者、生徒の三人が通訳を介して、話し合っているところです。)

教師：Aさんが出してくれた「進路のアンケート」では、B高校に進学希望と言うことですが、これは、ご家庭でよく話し合われましたか？

通訳：「進路のアンケート」で、B高校に進学希望と言うことですが、家庭で話し合いましたか？

保護者：はい、そのアンケートにはそう書いたのですが、実は主人が会社で事故を起こして、今入院してるんです。私だけが仕事をしていて、経済的にとても大変なので、進学は辞めさせようかと思うのですが・・・。

通訳：先生、この方のご主人、会社で怪我をしたんですよ。経済的にとても大変なので、進学は辞めさせようかと思っているらしいです。

教師：Aさんは進学希望だったし、頑張って勉強していたし、本当に進学しなくていいのかな？

通訳：Aさんは進学希望だったし、頑張って勉強したんだから、進学したほうがいいですよ。

生徒：僕も高校に行きたいし、勉強したいけど、お父さんもお母さんも大変そうだからね。

保護者：私も本当はこの子を学校に行かせたくて、それだけが楽しみで頑張ってきたのに... お金さえあれば、この子を高校に行かせることもできるのに・・・主人の入院にも、お金がいるし、どうしたものか・・・

通訳：母国の仲間が金融ビジネスやっているけど、紹介しましょうか？仲介料はいただくけど。

保護者：だいたい保証人になってくれる人がいないから無理です。こんなにいろいろ困っていても学校は何も力になってくれないし・・・。

通訳：本当ですね。まったく日本の学校って冷たいですよ。

教師：通訳さん、そちらで話してばかりですよ。ちゃんと通訳して下さい。

通訳：Aさんも高校に行きたいし、お父さんも入院してるし、まとまったお金がいるから借りたいけど保証人になってくれる人がいなくて困ってるそうです。

教師：困りましたね。・・・そうだ、あなた同じ国の人なんでしょう。保証人になってあげたらどうですか？

通訳：...エーッ。私がですか。私は通訳として頼まれてきたのですよ。保証人になるのはちょっと困ります。それに前に 町に住んでいるあの人の通訳をした時も、業者を紹介したけど、保証人になりませんでしたよ。

保護者：あ、それってマリアさんのこと？ そうマリアさんもお金借りてたんだ・・・

通訳：あっ、分かりました？ でも黙っていて下さいね。

教師：通訳さん、色々詳しくそうだから、面談が終わったら教えてあげて下さい。

通訳：でも、今日は予定が入っているから、電話番号教えますから、今度電話して下さい。

保護者：ありがとうございます。頼りにしてます！じゃあ保証人になってくれるんですね。よかった。うちの弟も、保証人さがしてたんです。さっそく教えてあげよう。

通訳：引き受けるなんて言っていないよ。ただ電話番号教えただけなのに・・・困りましたね。誰かあなたの友達とか。近所の人とか頼める人はいませんか？

保護者：他にもお金借りていて、これ以上頼める人はいないんです。お願いします。

(深々と頭を下げる) 主人は借金を返す為に無理な仕事をして・・・こんなことになってしまって・・・(うなだれて泣き出す。)

実は、家賃も3ヶ月払ってなくて大家さんから今日追い出されたんです。

(急に顔をあげて) すみません、どうか今晚一晩でも泊めて下さい。

通訳：そ、そんな・・・(絶句)。

疲れ切った通訳物語

通訳ボランティアのAさんは、今日も手帳をながめては、ため息をついてひとりごとをつぶやいています。

「あーあ、きのうの個人面談の通訳、いまひとつだったな。保護者のBさんの気持ちが、先生にうまく伝わらなかったような気がする。申し訳なかったな。何か気になって、ゆうべも夢に見ちゃって、熟睡できなかったから、今日も体がだるいな。」

そのとき電話が鳴りました。通訳をコーディネートするスタッフからでした。

「いつもお世話になっています。はい。・・・え？ 明日午後2時から通訳？ちょっと・・・あの・・・え？もう3人電話かけて断われたから引きうけて下さいって？ああ、またCさん？担任の先生からお話ししたいことがあるって？・・・よくあるのよね。」

(以下ひとりつぶやく)

『この間から胃が痛くて、気になってたんだけど忙しくてなかなか病院に行けなかったから、明日は病院に行こうと思っていたのに。・・・検査の予約入れたんだけどな・・・。このごろ疲れやすくて何か体調がすぐれないな。こんなとき通訳に行っていくのかなあ・・・。でも、いつものCさん、わたしのこと頼りにしてるんだよね。お子さんの様子もよく分かってるし私の通訳がいろいろよく言ってくれるしね・・・ま、いいか・・・』

「もしもし・・・ごめんなさい、お待たせしました。明日、いいですよ。はい、2時に**小学校です。・・・はい、分かりました。ありがとうございます・・・。」

こうしてAさんは、明日も疲れた体を引きずって、通訳に行こうとしているのでした。

参考文献・サイト

通訳ボランティアとしての研修には、受講内容を元に、自己学習及び、言語別グループ学習を行い、通訳としての力量をより高めていくことが欠かせません。その際に、学習の助けになるように、そして情報収集の手がかりになるように、参考文献・サイトを紹介いたします。

【参考文献】

『子どもたちの異文化接触』

AJALT (国際日本語普及協会) 1999年 NO.22

『日本語を学ぼう』(教師用指導書:文部科学省)

出版:ぎょうせい

『世界の子どもたち・NGOの現場から』

著者:フォスタープラン・オーストラリア

出版:明石書店

『ニューカマーと教育・学校教育とエスニシティの葛藤をめぐって』

著者:志水宏吉 清水睦美

出版:明石書店

『外国人留学生とのコミュニケーションハンドブック・トラブルから学ぶ異文化理解』

著者:大橋敏子 近藤佑一 秦喜美恵 堀江学 横田雅弘

出版:アルク

『異文化トレーニング』

著者:八代京子 町恵理子 小池浩子 磯貝友子

出版:三修社

『外国人留学生のための奨学金案内』

編集:アジア学生文化協会

出版:同文館出版

『豊橋市の学校案内』(参考サイト参照)

発行 豊橋市教育委員会 外国人児童生徒指導検討委員会

『外国人の子どもたちのための進路ガイド』(参考サイト参照)

発行 小牧市外国人児童生徒連絡協議会

【参考サイト】

参考サイトの紹介文の中では、本研修に関連する、または通訳ボランティア業務に関係すると思われる事項のみ、一部抜粋しているもので、詳しくは、まずは該当ホームページを開いてみて下さい。また、随時更新され、紹介文と若干異なる可能性がありますので、ご了承下さい。

日本語以外の言語で書かれているものもあり、自分の通訳言語に相当するものがあれば、用語や文章表現の学習に活用することもできます。

中国帰国者定着促進センター

<http://www.kikokusha-center.or.jp/>

本研修に関連する主な項目

帰国者事情（中国帰国者・樺太帰国者）

国際交流、日本語教育機関、外国人・帰国者支援団体、相談機関、

セミナー・シンポジウム・公開講座・交流会などの紹介

進学・進路資料

[奨学金関係資料](#)

[大学・専門学校等関係資料](#)

[高校進学ガイダンス情報](#)

[中学校卒業程度認定試験](#)

[全国中国帰国生徒等の高校入試特別措置情報](#)

[全国中国帰国生徒等の中学校編入関係情報](#)

神奈川県国際交流協会

<http://www.k-i-a.or.jp/kyozai>

本研修に関連する主な項目

教育関係者やN G O関係者を対象に開催しているセミナーについての情報

神奈川県国際交流協会発行の教材

地球市民学習関連書籍等リスト

横浜市国際交流協会

<http://www.yoke.city.yokohama.jp/>

本研修に関連する主な項目

国際交流、協力、イベント、グループの紹介

ボランティア日本語教室マップ

ボランティアグループリンク集の団体一覧表は、各団体について、検索するときに便利。

多文化共生センター

<http://www.tabunka.jp/>

多文化共生センターは、国籍や言語文化や性などの違いを認め、尊重しあう「多文化共生社会」を実現するために様々なプロジェクトを展開しているボランティア団体。活動拠点は、「おおさか」、「きょうと」、「ひょうご」、「ひろしま」、「東京21」の5カ所。

本研修に関連する主な項目

通訳・翻訳プロジェクト、多言語による生活相談窓口について等の活動内容の紹介

豊橋市教育委員会 外国人児童生徒教育資料

<http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp/index.htm>

豊橋市教育委員会および各学校では、在住外国人の3分の2を占めるブラジル人や、その他の中南米諸国出身の児童生徒および保護者を対象に、ポルトガル語とスペイン語の連絡文を適宜作成してきた。この資料は、これまで市教育委員会の教育相談員や各学校の担当者を中心に多くの人の手によって作られた、多数の文書をより有効に活用するため、PDF形式にまとめたもの。

本研修に関連する主な項目

豊橋の学校案内

- ・・・日本の教育制度、転入手続きにはじまり、持ち物、学校生活、行事等について、分かりやすく説明されている。

学校行事関係の案内文

- ・・・遠足、運動会等、行事についての連絡文書。

保健関係の書類

- ・・・尿検査等のお知らせ、内科検診事前調査、保健調査表等。

対訳教材

- ・・・中1数学の一部。保護者に連絡帳の使い方を知らせる文書。欠席連絡の時に使えるカード等。

小牧市外国人児童生徒教育連絡協議会

<http://www.k-komeno-e.ed.jp/gaikoku/index.htm>

翻訳文書

- ・・・学校生活・行事・転校手続・帰国手続・通知表・卒業証書・各種検診・進路案内等に関する文書がダウンロード可能

対応言語

- ・・・中国語、英語、スペイン語、ポルトガル語

入国児童のための日本語教育

<http://www.geocities.co.jp/NeverLand/3449/index.html>

本研修に関連する主な項目

コトバの小窓

- ・・・日本語の授業中や日常生活で感じたコトバについてのコメント

リンク

- ・・・公的機関・団体、企業、日本語教育、学校・その他、資料（自由に閲覧・印刷できる、多言語翻訳文書を提供している団体の紹介）

初めて外国人の児童・生徒を受け入れる先生方へ

<http://www.geocities.co.jp/NeverLand/3449/favor.htm>

『日本語指導が必要な外国人児童生徒に関わるトラブルは、受け入れる側が相手の国の習慣等を理解していれば避けられたかもしれない事例もある』という観点に立って、まとめられている。

本研修に関連する主な項目

学校生活 掃除 給食・弁当 服装 トイレ 学校に対する考え方

- ・・・日本と諸外国の違いについて、当ホームページの編者が知っている限りのいろいろなケースが紹介されている。

「諸外国の学校教育」

<http://www.naec.go.jp/education/index.htm>

ヨーロッパ諸国、アメリカ合衆国及びカナダ、中南米、アジア、オセアニア、アフリカに分けて紹介されている。

本研修に関連する主な項目

各国の学校教育制度の比較対照表

各国の教育制度

・・・地図上の国名をクリックすると、各国の教育制度について紹介されている。

『ニューカマーと異文化ストレス』 宮地尚子さんの講演記録

(中国帰国者定着促進センターのホームページから)

<http://www.kikokusha-center.or.jp/resource/shiryo/jidoseito/miyaji/miyajikouen.htm>

大阪府立のある高校で校内研修として行われた講演の記録。ニューカマーの方々（子どもたちを含む）と接する立場にある通訳ボランティアとして、「子どもの言葉の問題と親子関係」の部分をはじめ、是非知っておきたい内容。参考文献も最後に挙げてある。

(教育編)

講師・研修企画相談先

お名前	勤務先・所属	相談分野	備考
築樋 博子	豊橋市教育委員会 外国人児童生徒教育相談員	・外国籍児童、生徒の学校生活 ・相談事例	
小山 紳一郎	(財)神奈川県国際交流協会 企画情報課長	・多文化共生のまちづくり ・外国籍児童生徒の教育	
島本篤エルネスト	神奈川県在日外国人(多民族・多文化共生)教育連絡協議会 高等学校教諭	・外国から来た子どもたちの教育をめぐる課題	